

No.87

3月定例会号

平成29年4月25日

高浜市議会だより

びいぶる

- P.2 議案等に対する議員の態度
- P.3~4 議案審議
- P.5 請願・陳情
- P.6 委員会中間報告
- P.7~11 議会中継、一般質問
- 裏表紙 議会報告会、6月議会の予定



新しい議場

多目的ホールとして、一般の利用(有料)も可能です。
5月13日に議会報告会(裏表紙をごらんください。)を
ここでを行います。ぜひ、お越しください。

編集 広報・広聴委員会

発行 高浜市議会 高浜市青木町四丁目1番地2

電話 0566-52-1111 FAX 0566-52-1122

Eメール gikai@city.takahama.lg.jp ホームページアドレス <http://www.city.takahama.lg.jp/grpbetu/gikai/index.html>

議 案 審 議

議案等の件名及び採決の結果は、2ページの「議案等に対する議員の態度」をご参照ください。

1月臨時会

平成29年1月高浜市議会臨時会が、1月13日に開催されました。議案の概要は次のとおりです。

議 案

【議案第1号】

中央公民館解体工事に係る工事請負契約（1億3,478万4,000円。消費税含む。）をオカコー(株)と締結する。

【議案第2号】

高浜ライオンズクラブの東海会館への移転に伴い、所要の規定の整備を行う。

3月定例会

平成29年3月高浜市議会定例会が、2月24日から3月24日までの29日間の会期で開催されました。議案の概要は次のとおりです。

同 意

【同意第1号】

公平委員会委員、杉浦明氏の任期満了に伴い、竹内利宏氏を新たに選任する。

【同意第2号】

固定資産評価審査委員会委員、松井勝彦氏の任期満了に伴い、内藤誠氏を新たに選任する。

議 案

【議案第3号】

指定金融機関（公金の収納及び支払の事務）を、岡崎信用金庫に指定する。

【議案第4号】

高浜小学校等整備事業に係る事業契約（47億9,766万8,421円。消費税含む。）を、あおみが丘コミュニティ(株)と締結する。

【議案第5号】

公職選挙法の一部改正に伴い、投票資格者名簿の登録日を変更する。

【議案第6号】

借上公共賃貸住宅を廃止する。

【議案第7号】

専修坊児童遊園を廃止する。

【議案第8号】

工場立地法の一部改正に伴い、同法を引用する条例について、条文の整備を行う。

【議案第9号】

人事院勧告に基づき、扶養手当の改定を行う。

【議案第10号】

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、育児休業等の対象となる子の範囲を拡大等する。

【議案第11号】

介護を行う職員の仕事と介護の両立を目的に、介護休暇を分割取得できるようにし、介護のために勤務時間の一部につき勤務しないことを認める介護時間の新設等を行う。

【議案第12号】

行政手続における個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行う。

【議案第13号】

市長（-20%）、副市長、教育長（-10%）の、給料の月額を減額して支給する。

【議案第14号】

配偶者同行休業の期間の、再度の延長ができる特別の事情を定める。

【議案第15号】

平成29年度における第1号被保険者の、介護保険料の段階の判定に関する基準の特例を定める。

【議案第16号】

指定地域密着型通所介護に係る基準を定める。

【議案第17号】

勤労青少年ホームを廃止する。

【議案第18号】

公の施設として、新たに高浜芳川緑地多目的広場を設置等する。

【議案第19号】

高浜市やきものの里かわら美術館運営審議会における、部会制を廃止等する。

【議案第20号】

高浜市勤労青少年ホームを廃止することに伴い、当該施設の指定管理者の指定期間を変更する。

平成28年度 補正予算

【議案第21号】

歳入歳出予算の総額から歳入歳出各－2億6,004万5,000円。歳入歳出各144億5,810万円。主な要因は、中央公民館解体工事費の減。

【議案第22号】

歳入歳出予算の総額から歳入歳出各－2億886万3,000円。歳入歳出各39億5,460万1,000円。主な要因は、歳入では、保険財政共同安定化事業交付金の減。歳出では、一般被保険者療養給付費の減。

【議案第23号】

歳入歳出予算の総額から歳入歳出各－6,769万1,000円。歳入歳出各13億9,088万円。主な要因は、汚水施設建設事業の減。

【議案第24号】

保険事業勘定における歳入歳出予算の総額から歳入歳出各－2,329万1,000円。歳入歳出各26億1,313万2,000円。主な要因は、保険給付費と地域支援事業の減。

介護サービス事業勘定における歳入歳出予算の総額に歳入歳出各＋20万5,000円。歳入歳出各4,813万3,000円。主な要因は、介護予防支援事業費の増。

【議案第25号】

歳入歳出予算の総額から歳入歳出各－1,598万2,000円。歳入歳出各4億6,743万6,000円。主な要因は、後期高齢者医療保険料の減。

【議案第34号】

歳入歳出予算の総額に歳入歳出各＋480万円。歳入歳出各144億6,290万円。主な要因は、中央公民館解体工事費アスベスト除去工事及び公金支出差止訴訟委託による増で、いずれも債務負担行為を伴い、アスベスト除去工事は繰越明許費となる。また、旧庁舎アスベスト除去工事分5,616万円が債務負担行為となる。

【議案第35号】

歳入歳出予算の総額に歳入歳出各＋1,500万円。歳入歳出各39億6,960万1,000円。主な要因は、保険給付費の増。

平成29年度当初予算を可決

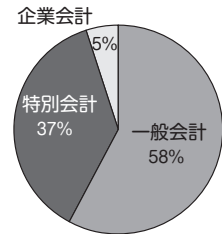
平成29年3月8日に予算特別委員会を開催し、

議案第26号から議案第33号まで審査しました内容のうち、一般会計にかかる分は次のとおりです。

■当初予算

総額…240億4,522万6千円

対前年比…0.7%減

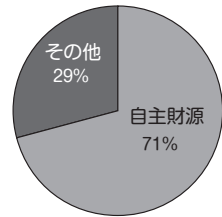


会計種別	金額	前年度比	増減
一般会計	140億2,700万円	前年度比	2.6%減
特別会計	87億8,553万4千円	前年度比	1.9%増
企業会計	12億3,269万2千円	前年度比	2.1%増

■一般会計歳入

総額…140億2,700万円

対前年比…2.6%減

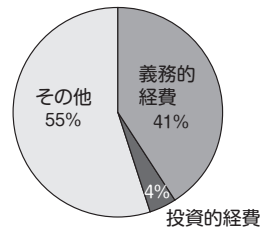


財源種別	金額	前年度比	増減
自主財源	99億4,921万4千円	前年度比	0.3%増
その他	40億7,778万6千円	前年度比	9.0%減

■一般会計歳出

総額…140億2,700万円

対前年比…2.6%減



経費種別	金額	前年度比	増減
義務的経費	56億9,559万7千円	前年度比	1.2%増
投資的経費	6億917万8千円	前年度比	21.7%減
その他	77億2,222万5千円	前年度比	3.3%減

債務負担行為額(当初予算分)

事業名	期間	限度額
電子計算機借上料(ファイル無害化システム)	平成30年度～平成34年度	1,597万6千円
市誌編さん業務委託料	平成30年度～平成32年度	601万5千円
高浜市土地開発公社による公共用地先行取得に要する経費	平成30年度～平成33年度	用地取得費4,300万円と経費及び利息相当額

地方債(当初予算分)

起債の目的	限度額
道路整備事業	3,300万円
小学校施設改修事業	3,100万円
中学校施設改修事業	9,700万円
中央公民館解体事業	1億1,900万円
かわら美術館改修事業	400万円
計	2億8,400万円

請 願 ・ 陳 情

平成29年3月定例会では、3件の請願と3件の陳情が審議されました。件名と採決の結果は、2ページの「議案等に対する各議員の態度」の件名欄をご参照ください。

なお、請願第1号から第3号、陳情第2号・第3号は「ミニボートピア設置検討特別委員会」で審議され、請願第1号・第2号及び陳情第3号では、提出者による意見陳述が行われました。

【請願第1号・第2号反対意見】

- ・利益に関わらず、売り上げの1%が環境整備費として行政に入る。固定資産税も見込まれる。
- ・全国のミニボートピアが設置されている地域では、警察等に伺っても、治安の悪化や、犯罪が増加したということはない。
- ・名張市での調査結果では、地域からの苦情は一切ない。協議会を開催し、地域の要望にしっかり対応している。
- ・交通の面など、警備員が交通整理をし、ゴミ拾いを行うなど、不安感が払拭できた。
- ・二池町内会の同意決議を尊重したい。

【請願第1号・第2号賛成意見】

- ・二池町は、住居系ゾーンになっていると思うので、ボートピアをつくることは問題がある。
- ・ギャンブル依存が大きな問題になっているが、依存症がますます増えるのではないかと懸念される。
- ・町内会での議決は64名でしており、地元合意がされたとは言い難い状況である。
- ・ギャンブルでの、他人の不運・不幸を踏み台にするような経済効果を期待するのは、不健全で邪道である。
- ・住民の側に立ってどういうふうを考えるか、これをやっていくのが行政・議員の仕事である。住民・近くの人の立場に立ち、現状で建設を認めていくのは、議員がやるべきではない。

【請願第3号反対意見】

- ・厚生労働省は、2014年8月に、ギャンブル障がいのある国内有病者数が536万人と発表しており、ギャンブル施設は、もうこれ以上必要ない。

- ・市に協議会を常設すると書かれているが、果たして市民に公開され、傍聴の自由が担保され、全議員が出席できるのか分からない。

【請願第3号賛成意見】

- ・小規模場外舟券発売場とは、法律に定められている公営競技で、国から公認されている。
- ・収益金で、一定の地域だけでなく、日本全国に貢献されている。企業と自治会が助け合いながら、地域をさらに良くしていけると考える。

【陳情第1号反対意見】

- ・幼稚園や小学校の教員免許保持者を保育士とみなすことができる等の規制緩和で乗り切ろうとしているとあるが、十分対応できると思う。

【陳情第1号賛成意見】

- ・保育士の資格がしっかりとしていなくてもいいような緩和策も出ているが、これで子どもの命や安全を守れるのかという問題もある。資格と処遇の改善は、大事なことである。

【陳情第2号・第3号反対意見】

- ・同意は、でたらめな投票による賛成多数と書かれているが、二池町内会は、会則に則って公平・公正な投票が行われたと伺っている。
- ・子どもたちの安全安心、町の防犯という面は、地元警察署の指導で警備員を配置して対応。未成年者は入場チェックを行い、簡単に舟券を購入できないようにし、広報活動でも徹底する。
- ・建設予定地の駐車場出入口は、規定の通学路ではない。

【陳情第2号・第3号賛成意見】

- ・ミニボートピア建設予定地に面する道路は、港小学校、南中学校の通学路であり、周辺住民の安心安全や、子どもたちの健全な育成にも良い影響があるとは考えられない。
- ・周辺住民の安心安全が不安視され、不安が解消されない中で、ミニボートピアを建設する理由はないと考える。

意 見 書

請願第3号の賛成採決を受け、市長が同意を表明される場合、事業者に対して地域住民の生活環境に十分な配慮をした防犯・交通対策等を行うよう求めるとともに、市への環境整備費の使途の明確化を求める意見書が、賛成7名の議員の署名をもって提出されました。

委員会中間報告

各委員会報告については、主な内容を掲載していますが、紙面の都合上、3月議会に係るものです。1年分をまとめたものではありませんので、会議録は、市議会ホームページをごらんください。

■ミニポートピア設置検討特別委員会

この委員会については、ミニポートピアに係る請願・陳情の審議を行うために設置されたもので、5ページの請願・陳情と同じ内容になりますので、そちらをごらんください。

■公共施設あり方検討特別委員会

今年度は、8回開催されました。

●2月9日開催

次のとおり報告があり、それに対して質疑が行われました。

- ・高浜小学校等整備事業で、(仮)契約書の締結についての報告。
- ・公共施設総合管理計画及び長期財政計画についての報告。
- ・高取認定こども園化についての報告。
- ・その他で、中央公民館の解体工事に係る、地域住民の方への工事説明会の予定について報告。

●3月7日開催

○次のとおり議案に対する説明があり、それに対して質疑が行われました。

- ・議案について、議案第4号、議案第17号、議案第20号(議案の内容については、2ページの「議案等に対する各議員の態度」をごらんください。)の質疑が行われ、委員会での採決は、全て挙手多数により、原案可決となりました。

○次のとおり報告があり、それに対して質疑が行われました。

- ・勤労青少年ホーム跡地活用事業 基本方針案についての報告。
- ・旧庁舎解体工事に伴う、外壁アスベスト処理についての報告。
- ・中央公民館解体工事に伴う、アスベスト処理についての報告。

■議会改革特別委員会

(1) 議会のICT化の取り組みについて

●「高浜市議会情報機器使用規準(案)」及び「ICT化に関する定め 各自治体の事例」に対しての、各議員からの意見。

- ・会議中に、端末で外部との情報の受発信を行うことを禁止する部分について「当局からの資料以外」とできないか。また、「当局からの資料の直前の差換え」はどうなるのか。
 - ・貸与とした場合、相当の費用負担が発生し、予算措置等が必要となるがいいのか。
- これに対して、一度検討したい等の意見が出され、大津市への視察研修(2月2日)を行った結果を踏まえて、会派に持ち帰って検討したものを次回以降に議論することとなった。

(2) 議会の災害対応マニュアルについて

●「高浜市議会大規模災害発生時対応要領(案)」に対しての、各議員からの意見。

- ・支援本部の構成で、本部長及び副本部長に事故がある場合の職務代理者で、年長の議員を幹事会で取り決めた適当な人にしてはどうか。
 - ・上記支援本部の構成で、年長の議員を総務建設委員長にしてはどうか。また、本部長、副本部長及び総務建設委員長に事故があるときは、出席議員の中から互選により選ばれた議員が職務を代理するという規定を追加してはどうか。
 - ・雑則で、この要領に定めるもののほか、災害時の議員の行動について必要な事項は、幹事会において別に定めるにしてはどうか。
 - ・支援本部の設置は、危機管理マニュアルの第2非常配備(警戒体制)又は第3非常配備体制がとられたときから、第3非常配備体制がとられたとき及びその他本部長が必要があると認めたときにしてはどうか。
- これに対して、もう一度各派に持ち帰って検討したい等の意見が出され、これも大津市への視察研修(2月2日)を行った結果を踏まえて、会派に持ち帰って検討したものを次回以降に議論することとなった。
- ◎その他の意見として、こういったICT、BCPは必要であり、十分議論をしなければというの分かるが、導入時期の目標がないというまでも決められない。予算等が必要なものもあると思うが、この委員会をより充実したものにするためにも、期限の設定を考えていきたい、という意見が出されました。

議会に傍聴に行かなくても、本会議が見られます

- ①生中継で本会議の視聴ができます。
- ②録画中継でも、おおむね2週間後には、本会議の視聴ができます。
- ③生中継の本会議開始時刻は、いずれも10時開始予定です。

裏表紙の、6月定例会日程を参考に、ぜひごらんください。

- インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、生中継や録画中継をごらんになることができます。
- 録画中継は、生中継放送後、おおむね2週間以内に配信を予定しています。
- 議会放送関係の注意事項について、高浜市公式ホームページ「高浜市議会映像ネット配信」内に掲載していますので、必ずごらんください。

■PC向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/>

■スマートフォン向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/sp/>

■スマートフォン用 QRコード



！
ご注意ください

※視聴は無料です。ただし、通信料等は視聴者のご負担となります。
※動画配信となりますので、視聴者の通信料等の契約内容により、高額となる場合があります。
※視聴に際し今一度、視聴環境にかかる契約内容を、よくご確認・納得のうえ、ご視聴ください。



市政の ここが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。
なお、掲載文は、議員本人作成の原稿です。
▶8ページへ。



北川 広人 議員

高浜市の現状の課題と 平成29年度の 取組みについて

問 庁舎解体は、石綿撤去を含め、その進捗は。

答 労働基準監督署と「石綿含有建築用仕上げ塗材からの石綿粉塵飛散防止用処理技術指針」に基づき、石綿撤去は近隣へ飛散しない工法で処理をする必要があり、敷地に環境測定器を据えて施工していく予定であるが、具体的な施工計画を作成するのに不測の日数を要している現状である。

問 市内学校プールに対する基本的な考え方と、今後どのように勤労青少年ホーム跡地に予定されるプールを使用していくのか。

答 高浜小学校での取組みをモデルとして、水泳指導の民間活用の効果を検証した上で、概ね2年間隔を想定して南中学校、高取小学校、港小学校の順で進めていきたい。

問 豊田町地区、小池町地区における工業用地創出事業の目標設定や効果を試算しているか。

答 豊田町地区は平成31年2月に造成工事完成を、小池町地区は同年3月に開発に向けた諸手続きの完了を目指している。その効果は、試算として、固定資産税で豊田町地区は年間約6,000万円から9,000万円。小池町地区では約9,000万円から1億3,000万円の収入を見込んでいる。また、新たな雇用の創出効果もある。

問 刈谷豊田総合病院高浜分院の移転新築について、その進捗とスケジュールは。

答 豊田会が、平成29年9月開催予定の圏域保険医療福祉推進会議に、移転に伴う病床整備計画を提出する必要があるため、5月の豊田会理事会での承認をいただく。覚書を取り交わし、その後、建設工事前に協定書を締結し、高浜市議会において予算議決をお願いする。

高浜市総合計画後期基本計画策定について

問 後期基本計画策定や第7次総合計画に向けて、誰がそれを進めていくのか。

答 市長就任以来、これまで高浜市の根っこづくりに取り組んできた。負託をいただければ、引き続き計画最終期の4年間で総仕上げを行い、次の計画・次代にしっかりと繋げていく。



内藤 とし子 議員

ボートピア 建設計画について

問 市内二池町にボートピア建設計画の同意申し入れがなされ、設置反対の署名が町内の半数以上集まったものの町内会長はその署名を受け取らず、事業者に送ったといわれた。その後、臨時総会を実施、建設同意の意思決定を諮ろうとしたものの、同件に反対する地区役員の大数の前に総会は延期。1月9日に改めて臨時総会を開催し、投票の秘密が担保されないデタラメな投票によって「同意」を賛成多数で議決。競艇は、刑法で禁止されている賭博及び富くじ販売の特例として認められている公営ギャンブルの一つですが、法務省の見解が示すように、「勤労の美風を害するばかりでなく、副次的な犯罪を誘発し、さらに国民経済の機能に重大な障害を与える恐れすらある」という内容をやら

せているもので、ギャンブル依存症を増やし、多重債務、犯罪等を誘発し、青少年の健全育成への影響を懸念する声が多くの上がっている。だから半数以上の反対署名が集まったと考えるが、市はどう考えているのか。

答 内容が不正かどうか町内会の行うことですので、行政として意見を言うのは差し控える。

問 臨時総会を行った投票日の様子は、市長のところにもDVDが届けてあります。またマスコミでも不正まがいのことがあったと新聞に載りましたが、町内会の行うことだからと容認するのか。市長は同じ町内会の住民として見て見ぬふりをするのか。

答 町内会は任意団体ですので、市が意見を挟むことは控えたい。

問 敗者を作らなければ成り立たないギャンブルは、そこから得られる経済効果を期待することは不健全であり邪道である。ギャンブル依存症がもたらす生産性低下や経済的損失は7兆7千億円にのぼり、コストは経済損失の5倍だという数字も出ている。ボートピア設置について、同意しないよう求める。

答 この後、請願や陳情を審議してもらう特別委員会がある。市長が予断を持たせるような発言はできない。

への影響を懸念する声が多くの上がっている。だから半数以上の反対署名が集まったと考えるが、市はどう考えているのか。

答 内容が不正かどうか町内会の行うことですので、行政として意見を言うのは差し控える。

問 臨時総会を行った投票日の様子は、市長のところにもDVDが届けてあります。またマスコミでも不正まがいのことがあったと新聞に載りましたが、町内会の行うことだからと容認するのか。市長は同じ町内会の住民として見て見ぬふりをするのか。

答 町内会は任意団体ですので、市が意見を挟むことは控えたい。

問 敗者を作らなければ成り立たないギャンブルは、そこから得られる経済効果を期待することは不健全であり邪道である。ギャンブル依存症がもたらす生産性低下や経済的損失は7兆7千億円にのぼり、コストは経済損失の5倍だという数字も出ている。ボートピア設置について、同意しないよう求める。

答 この後、請願や陳情を審議してもらう特別委員会がある。市長が予断を持たせるような発言はできない。



小野田 由紀子 議員

代筆・代読支援の 推進について

問 プライバシーを確保できる専門の支援員の要請に取り組むなど、代読・代筆支援を必要とする人のニーズに応じて、いつでも受けられる仕組みづくりの推進は。

答 現段階では、専門の支援員の養成やその仕組みづくりについて、今すぐ実施する予定はないが、例えば手話通訳者の養成研修を受講された方に、次のスキルとして身につけていただくといったこと等検討できます。まずは代読・代筆の支援サービスといった仕組みを広く事業者やボランティアの方々に知っていただくことから始めていきたい。

災害時の避難所運営について

問 災害発生時の避難所運営の流れについて。

答 まず「初動期」は、応急的に「初動期避難所運営組織」を設置し、施設の安全点検や利用

スペースを確保し、避難所の開設、避難者の誘導・受入れ、医師会の協力で負傷者の対応にも当たる。次に「展開期」では、「避難所設置委員会」を設置し、避難者の生活や活動を円滑に行い、相談窓口を設置する。「安定期」では、避難生活が長期化し、心身の抵抗力が低下する時期でもあり、きめ細かな避難所運営に努め、学校など施設の再開に向けた協議等を行う。最後に「撤収期」は、ライフライン等の機能が回復し、仮設住宅の提供や学校施設等の再開など、避難所の縮小や統合に向けた準備・調整を行う。

問 避難所運営に関する訓練状況と今後の取り組みは。また、避難所運営支援班はどのように組織されるのか。

答 平成27年度から「防災リーダー養成講座」を開催、29年度は新たにフォローアップ編を開催し、防災リーダーの再レベルアップを図る。支援班については、内閣府のガイドラインや近隣自治体の状況等を参考に、検討を重ねていく。

問 災害発生時の職員体制は。

答 昨年4月から防災専門官を採用。より実効性のある危機管理マニュアルの運用に努め、避難所運営マニュアルの見直しも進めていきたい。



黒川 美克 議員

公共施設の あり方計画について

問 公共施設総合管理計画公共施設推進プラン案の現状及び今後の対応を問う。

答 市民講演会や住民説明会、町内会等の出前説明で、情報の共有化に努めた。今後もトーク&トーク等を通

じ、情報共有と情報発信に努める。特に高浜小学校等整備事業は、学校を核とした複合化施設のモデルケースで、本定例会で事業契約締結の議決をお願いしているが、老朽化が顕著で、児童の学習環境向上のためにも早期整備を進めていく。また、勤労青少年ホームの跡地活用も、現在、基本方針をとりまとめているが、南テニスコートを含めたスポーツの拠点整備について、平成29年度は実施方針を策定し、事業者募集に向けた手続きを進める予定。

問 公共施設総合管理計画インフラ施設推進プラン案の今後の対応について問う。

答 2月9日の公共施設あり方検討特別委員会

での説明のとおり、大きく見直したところはない。今後も市の財政状況とインフラ施設の現状を踏まえ、コスト縮減を図りつつ、優先順位付けをして推進していく。

問 公共施設あり方計画と市街地整備の連携について問う。

答 本市では既存の低未利用地活用、防災上危険な密集市街地解消、臨海部土地の有効活用等課題解決、瓦工場跡地の住宅地転換等で、住工混在型から住宅地へと、まちが様変わりしてきている。今後の都市計画マスタープラン見直しの中で、将来人口予測を基に人口フレームや土地利用状況を踏まえて、必要性を考えていく。

図書館行政について

問 高浜市立図書館の今後のあり方を問う。

答 高浜市公共施設総合管理計画公共施設推進プランで、平成30年度までに図書館のあり方を検討し、平成31年度にいきいき広場への機能移転を目指すとしている。子供に特化した図書館の強みを活かしつつ、図書館の使命や真に必要な機能とは何か、市民とともにキャッチボールしながら検討を進めていく。



柳沢 英希 議員

環境行政について

問 分別収集について。

答 平成7年から実施し、現在121カ所の拠点で実施している。年間の回収量は、平成27年度で109万1,773kg。回収収益金は1,082万9,116円で、立ち番や運営協力をしてくださる町内会

への謝礼に充当している。

問 分別収集での課題、問題、解決策は。

答 町内会員の高齢化と、早出しによるゴチャ混ぜがある。新田町、清水町では開設数の減、屋敷町では第1・第3週をシルバー人材センターへ依頼、芳川町では時間を30分短縮しているが、拠点での地域コミュニケーションは、引き続き実施していただいている。ただし、分別収集は、町内会の協力がなければ成り立たない。立ち番や運営方法は、今後も町内会や生活環境問題研究会と検討していく。

問 新聞店、スーパーなどの民間回収もさらに活用させていただくと、回収の種類や負担も減

るのではないか。

答 市だけでなく、地域も含め店舗、民間業者との回収すみ分けも、調査・研究していく。

問 可燃ごみの状況はどうか。

答 平成27年度の排出量は1,248万140kgで、平成26年度と比較し微増である。1人1日あたりの量は近年横ばいであり、530gから550gである。目標の400gには、新たな取組みが必要である。

問 可燃ごみでの課題、問題、相談等は。

答 前日からのごみ出しにより、カラス、野良猫等による、散らかし、集積拠点の確保など。可燃ごみについても、町内会の方々に大きく協力をいただいている。

問 町内会の協力なしでは、さまざまな情報共有はもとより、資源・可燃ともに課題解決は図れない。可燃ごみ袋の有料化を実施し、区別化も考えるべきでは。また、可燃ごみ袋へのスポンサーによる企業への意識向上は図れないか。

答 有料化について時期は明言できないが、検討を考える場面は出てくるであろう。スポンサー企業については、好評の碧南市を参考に調査・研究していく。



杉浦 辰夫 議員

応急危険度判定士について

問 市内の現在の応急危険度判定士の人数は。

答 建築士等の、民間の登録人数で20名。

問 高浜市で実施している応急危険度判定の訓練状況は。

答 電話による情報伝達訓練、市総合防災訓練で、避難施設の応急危険度判定訓練等を実施している。

問 年1回程度、市内の判定士が集まり、情報の共有化や意見交換の考えは。

答 平成29年度、そのような機会を設けたい。

問 現在の判定実施本部「翼児童センター」について。

答 災害対策本部と隣接する場所に設置することが理想であるが、今後、災害拠点施設全体のあり方等を検討・調整する中で、判定実施本部については議論を重ねたい。

問 地震災害時の応急対策活動マニュアルの策

定後の状況について。

答 マニュアルの活用や見直し等は進んでいない状況なので、今後、内容の確認や精査等を行い、応急危険度判定士との意見交換の中で調整を重ねたい。

木造住宅耐震診断について

問 市で実施している補助以外で、新築の際の取り壊しに対する補助制度の実施について、近隣市の状況は。

答 碧南市が5件、刈谷市が40件、知立市が5件で、安城市は未実施であり、市としては、今後も継続して調査・分析を進めたい。

市道港線について

問 今後の予定について。

答 横浜橋の南工区「八百屋さん付近」は、平成31年度を目標とし用地取得を進め、工事は補助金を愛知県と調整して事業を進める。未整備区間は交差点の整備を優先し、残りの区間については交差点の改良工事が終わるころ方針を検討する。また、地権者や沿線の住民に対し、町内会と相談をして、説明会の機会を設けたい。



幸前 信雄 議員

「市役所の改善活動」・ 「財政指標」について

問 市役所の改善活動内容は。

答 整理整頓を意味する「2S活動」と、誰でも一定の基準で業務を行うことができるようにする「標準化活動」の2点。

問 過去の活動との違いは。

答 「2S」活動は、過去にも取組み、成果を出していたが定着しなかったため、活動を上司に報告する仕組みをつくり定着を図る。「標準化活動」では、考え方を根付かせるため、少人数ごとに毎週研修会を実施。

問 市役所の2S活動は。

答 庁舎移転に合わせ2S活動を実施し、不要なものを廃棄。移転後は、保管ルールを設け、増えない仕組みの構築を図っているところ。今後は、電子化された文書類の基準の設定と継続的な見直しを実施。

問 市役所窓口で、マイナンバーカードを活用

したワンストップサービスを考えているか。

答 4月から本格稼働する基幹システムで「待ち時間短縮」に努めており、今後、マイナンバーカードを活用したワンストップサービスを実現するために、国の利用制限等の調整が必要であり、時期を見て考えたい。

問 平成29年度当初予算を執行した場合の経常収支比率は。

答 扶助費は増加するものの、情報システム業務委託料の減少、事務事業の見直しで、今年度の見込みより、1.3%減の88.4%と試算。

問 平成29年度末の市債の借入残見込みは。

答 72億6,700万円を見込み、ピーク時の45%の水準。

問 平成29年度末の基金残高の見込みは。

答 約27億3,900万円を見込む。

問 平成29年度の財政力指数は。

答 1.03を見込み、引き続き不交付団体を見込む。



神谷 直子 議員

市民生活の 利便性向上について

問 納税時のインターネットバンキングやクレジットカードの利用について。

答 税の納付方法の一つとして検討すべき。他市の事例を研究しながら、引き続き検討したいと考えています。

問 住民票の写し等のコンビニ発行について。

答 マイナンバーカードを利用して、コンビニで住民票の写し等を発行するサービスです。

問 市の窓口で発行する場合と、コンビニ交付ではコストはどうか？また、発行手数料は？

答 コストは、窓口が660円、コンビニが345円。効果があると考えています。発行手数料は、現行どおり窓口・コンビニとも同額です。

高齢者の生活環境向上について

問 相談場所と支援につなげる対策は？

答 福祉まるごと相談で、健康な方、介護の必要な方も、いろいろな相談を受けています。総

合的な支援へとつなげています。

問 高齢者を見守る体制は？

答 民生委員さんやシルバー人材センターの見守り推進員さんがしており、訪問しています。

問 今後増えることが見込まれる認知症対策について、早期診断・早期対応は？

答 H25年度から認知症初期集中支援チームが事例検討を行っています。今後は、複数の専門職が本人やご家族に認知症支援を行い、自立生活のサポートを行える体制を整備していきます。

問 認知症の方々を地域で支える仕組みは？

答 認知症サポーターの養成をしてきました。

問 認知症サポーターの地域活躍の場は？

答 復習を兼ねた上級講座の開催と、交流活動など、共に理解を深める取組みを考えています。

問 健康自生地について？

答 体験や仲間ができる取組みをしていきたい。

問 脳とからだの健康チェックの「認知症予防スタッフ」について

答 健康自生地で、コグニサイズ体操をはじめとした介護予防や、認知症予防を推進するための活動を、認知症予防スタッフの皆さんに実施していただきたいと考えています。

議会報告会 の開催

日時 平成29年5月13日(土)

午後2時～4時まで

場所 高浜市役所3階議場(多目的ホール)

報告会 1月臨時会・12月定例会・3月定例会での審議内容報告

新しい議場で行います。

ぜひ、見学を兼ねてお越しください。



6月定例会の日程

月 日	曜	会議日程	付議事項
6月 9日	金	本会議第1日目	開会、議案上程、説明
6月13日	火	本会議第2日目	一般質問
6月14日	水	本会議第3日目	一般質問
6月16日	金	本会議第4日目	総括質疑、議案委員会付託
6月20日	火	総務建設委員会	付託案件審査
6月21日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
6月22日	木	公共施設あり方検討特別委員会	付託案件審査
6月29日	木	本会議第5日目	委員長報告、採決、閉会

6月定例会を 傍聴してみませんか

定例会は3・6・9・12月の年4回開催されます。

開会時間は、いずれも10時の予定です。一般質問等で、市政全般にわたって議論が展開されます。

ぜひ一度、知り合いなどを誘って、傍聴にお越しください。

編集 後記

「光陰矢のごとし」とは、よくいったものです。編集は議員同士・1年交替・7人で行いますが、早くも1年が過ぎてしまいました。4月は出会いと別れの季節でもあり、妙に落ち着かない気がします。編集作業や議会報告会は議員同士で行い、締切もあって大忙しです。ああすればよかった、こうしなかったという気持ちが空回りし、フィギュアスケートの浅田真央選手のように「悔いなし。」という訳にはいきませんが、一つずつ前に進めていきたいと思えます。次回からは、新委員での編集です。今後とも、温かく見守っていただければと思います。

■住民投票について、現在も議員間で意見を出し、話し合っております。